

ダイバー水位計 クイックガイド

Diver-Office 2022 対応版

ダイキ
大起理化工業株式会社



本社・工場

〒365-0001 埼玉県鴻巣市赤城台212-8
TEL 048-568-2500 FAX 048-568-2505

西日本営業所

〒525-0032 滋賀県草津市大路2-9-1
TEL 077-567-1750 FAX 077-567-1755

ホームページ <https://www.daiki.co.jp/>
E-mail mbox@daiki.co.jp

目次

1. Diver-Office のインストール	3
2. USB 対応専用読取り器を PC に接続する	5
3. Diver-Office を使用する	6
4. ダイバー水位計のスタート	8
5. ダイバー水位計のストップ、データのダウンロード	10
6. 大気圧補正	11

1. Diver-Office のインストール

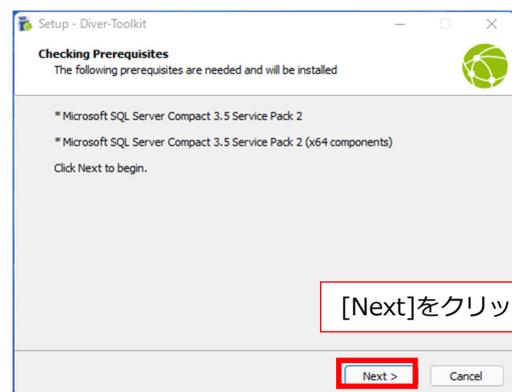
1. 付属の CD-ROM を PC にセットします。
2. 画面右下に以下のメッセージが表示されますので、メッセージをクリックします。

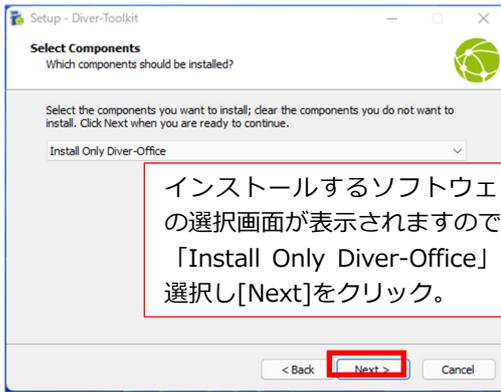


3. 操作の選択画面が表示されますので、「Diver-Toolkit_2020_Setup.exe の実行」をクリックします。

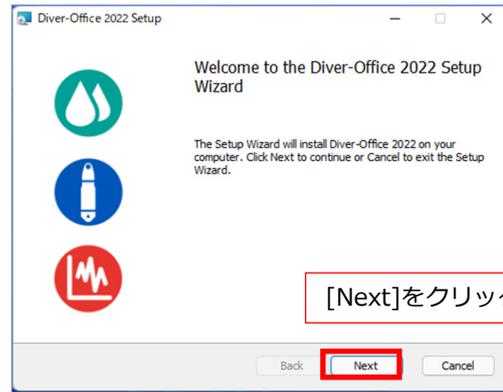


4. 以下の手順でインストールを進めます。

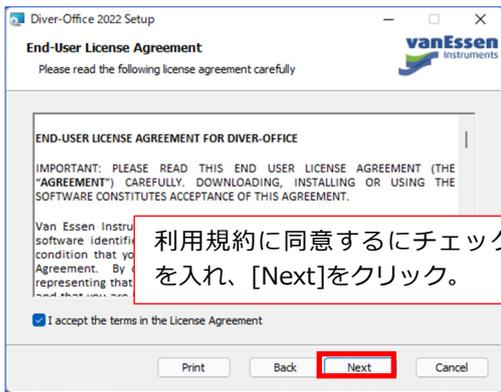




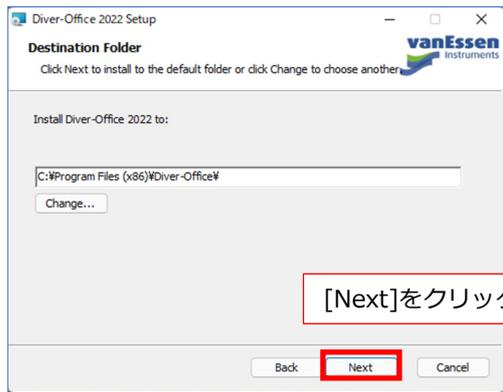
インストールするソフトウェアの選択画面が表示されますので、「Install Only Diver-Office」を選択し[Next]をクリック。



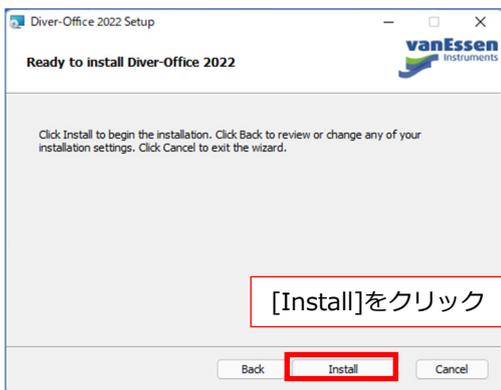
[Next]をクリック。



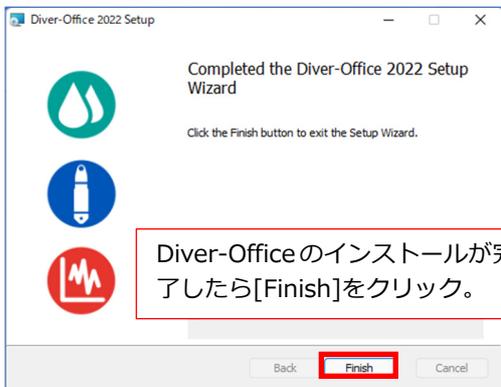
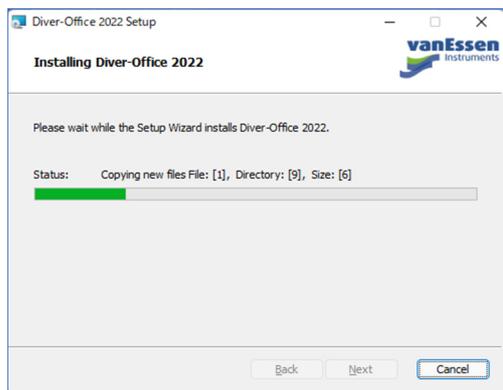
利用規約に同意するにチェックを入れ、[Next]をクリック。



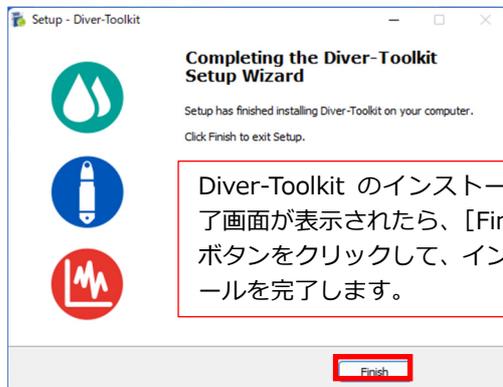
[Next]をクリック。



[Install]をクリック



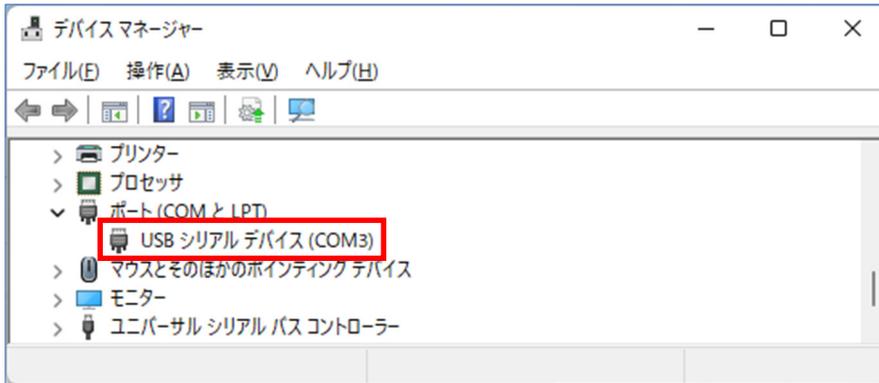
Diver-Officeのインストールが完了したら[Finish]をクリック。



Diver-Toolkit のインストール完了画面が表示されたら、[Finish]ボタンをクリックして、インストールを完了します。

2. USB 対応専用読取り器を PC に接続する

1. DIK-611A-F2 USB 対応専用読取り器を PC の USB ポートに接続します。
(USB 対応 DDC 通信ケーブルをご使用の場合は、読み替えてご使用ください。)
2. 接続されていることを確認したい場合は、「デバイス マネージャー」内の「ポート (COM と LPT)」をチェックし、「USB シリアル デバイス」と表示されていることを確認します。



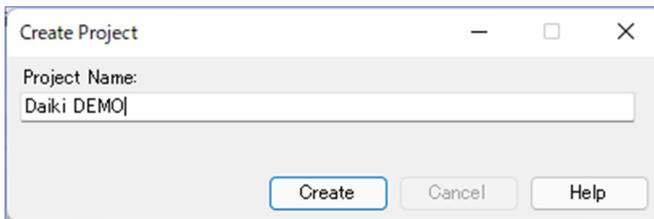
※ USB 対応専用読取り器の製造年によっては「Diver USB Reading Unit」と表示される場合があります。

3. Diver-Office を使用する

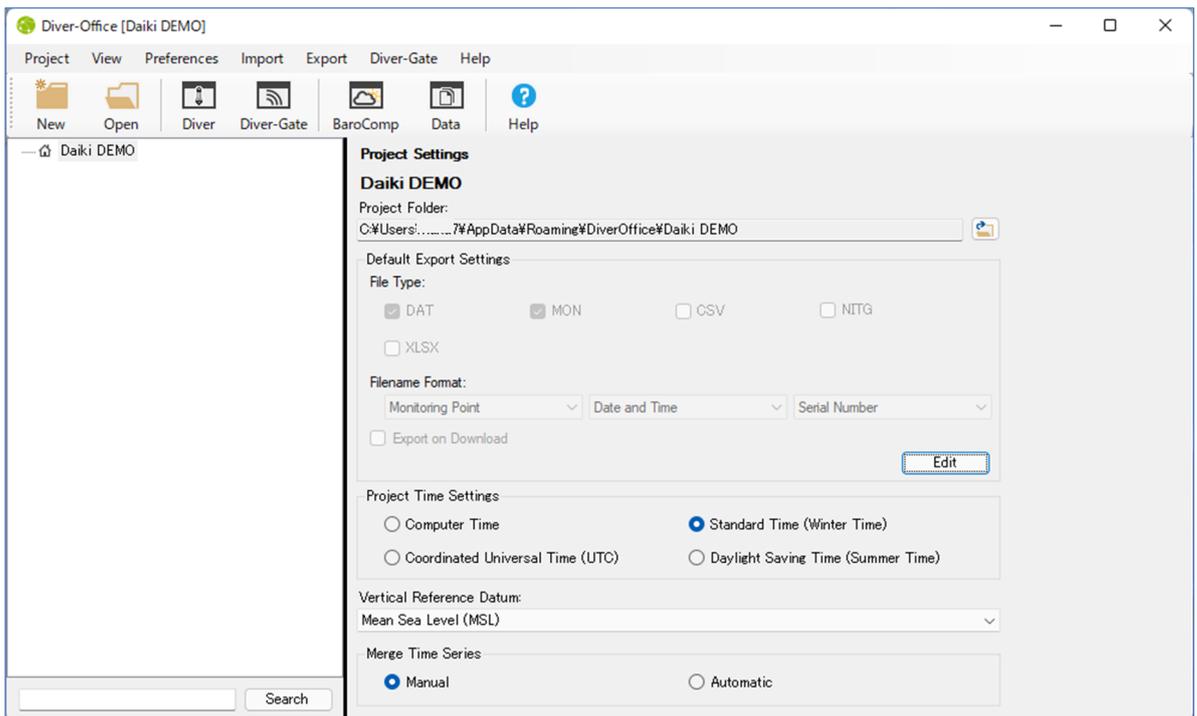
1. デスクトップ上に作成された「Diver-Office」のアイコンをダブルクリックします。



2. 初めて Diver-Office を起動する場合、「Create Project」画面が表示されますので、適当なプロジェクト名を入力して [Create] ボタンをクリックします。
(ここでは「Daiki DEMO」と入力しています。)



3. プロジェクトの設定を行います。
(「Project Settings」画面は、プロジェクト名をクリックすると表示されます。)

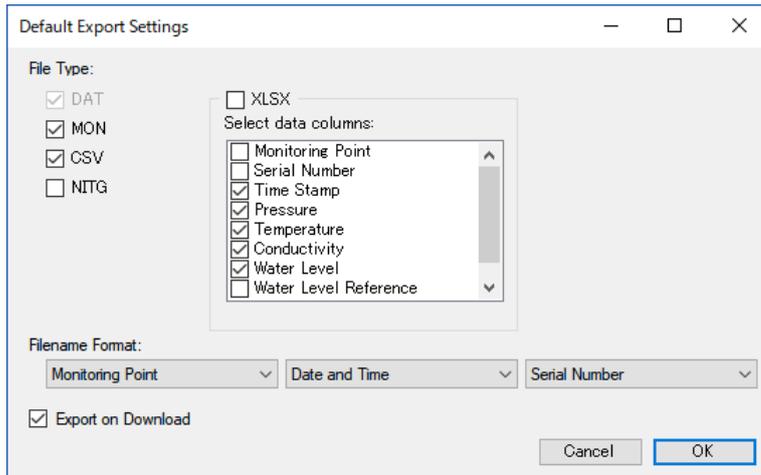


Project Folder : ダイバー水位計からダウンロードしたデータの保存先を指定します。

Default Export Settings : 保存するファイル形式、ファイル名等の設定を行います。

Project Time Settings : プロジェクトの時間設定を行います。(通常はデフォルトのまま使用してください。)

4. 「Project Settings」 → 「Default Export Settings」 の設定について。



File Type : MON、CSV、XLSX 形式のファイルタイプを選択できます。(NITG は使用しません。)

ここで出力したいファイル形式を選択していないと、エクスポートすることができません。

Filename Format : 保存するデータのファイル名形式を 3 つの項目より指定します。

3 つの項目から選択した場合、指定した順のファイル名で保存されます。
例えばシンプルにシリアルナンバーだけをファイル名としたい場合は、1 つの項目を「Serial Number」とし、他の 2 項目は「None」と指定します。

Export on Download : チェックを入れると、ダイバー水位計からデータをダウンロードすると同時に、「File Type」で指定したファイル形式で保存されます。

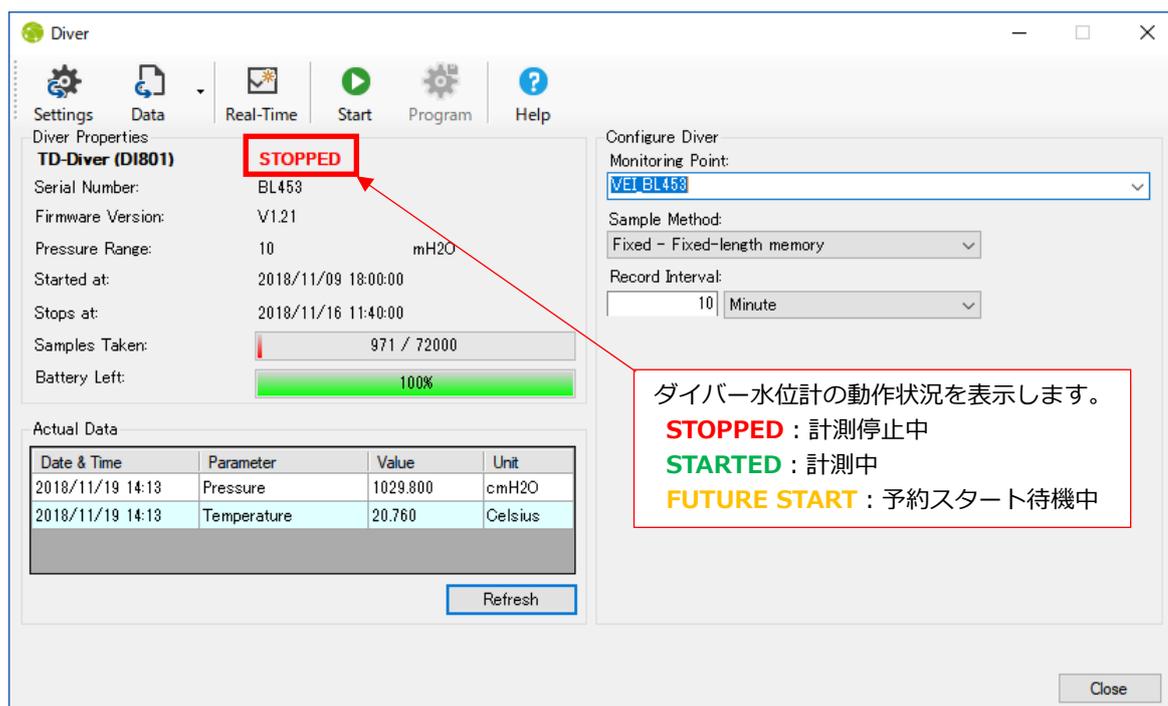
4. ダイバー水位計のスタート

1. スタートするダイバー水位計を、USB 対応専用読取り器にセットします。

2. [Diver] ボタンをクリックします。



3. セットしたダイバー水位計の設定画面が表示されますので、通常は記録間隔の指定のみ行います。



Sample Taken : データ記録数を表示します。

Battery Left : バッテリー容量を表示しますが、使用状況により変化するため目安表示となります。

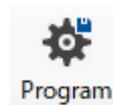
Actual Data : [Diver] ボタンをクリックした際に取得した測定値を表示します。
[Refresh] ボタンをクリックすることで、測定値の更新を行うことができます。

Monitoring Point : 通常このままでご使用ください。

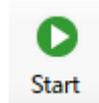
Sample Method : 通常このままでご使用ください。

Record Interval : 記録間隔を指定します。大気圧補正を行う場合は、設定を行うダイバー水位計の記録間隔を同じにしておくことをお勧めします。

4. 設定が完了したら、[Program] ボタンをクリックします。



5. [Start] ボタンをクリックします。



※測定を開始することで、記録されているデータは削除されます。
(TD ダイバー系は 1 世代のデータまでバックアップされます。)

6. 大気圧補正を行う場合は、予約スタートを利用し、測定を行うダイバー水位計のスタート時間を同じに時刻に設定しておくことをお勧めします。

Immediate Start : 即時スタート。[Start] ボタンをクリックするタイミングで測定を開始します。

Future Start : 予約スタート。指定した日時に測定を開始します。

Diver Time : ダイバー水位計の内部時計の時刻を表示します。

Project Time : 設定したプロジェクトの時刻を表示します。通常は PC の時刻を表示します。

Sync Diver Time with Project Time : チェックを入れると、通常は PC の時刻にダイバー水位計の時刻を同期します。

7. [Start] ボタンをクリックすると、測定を開始します。

5. ダイバー水位計のストップ、データのダウンロード

1. スタートするダイバー水位計を、USB 対応専用読取り器にセットします。

2. [Diver] ボタンをクリックします。



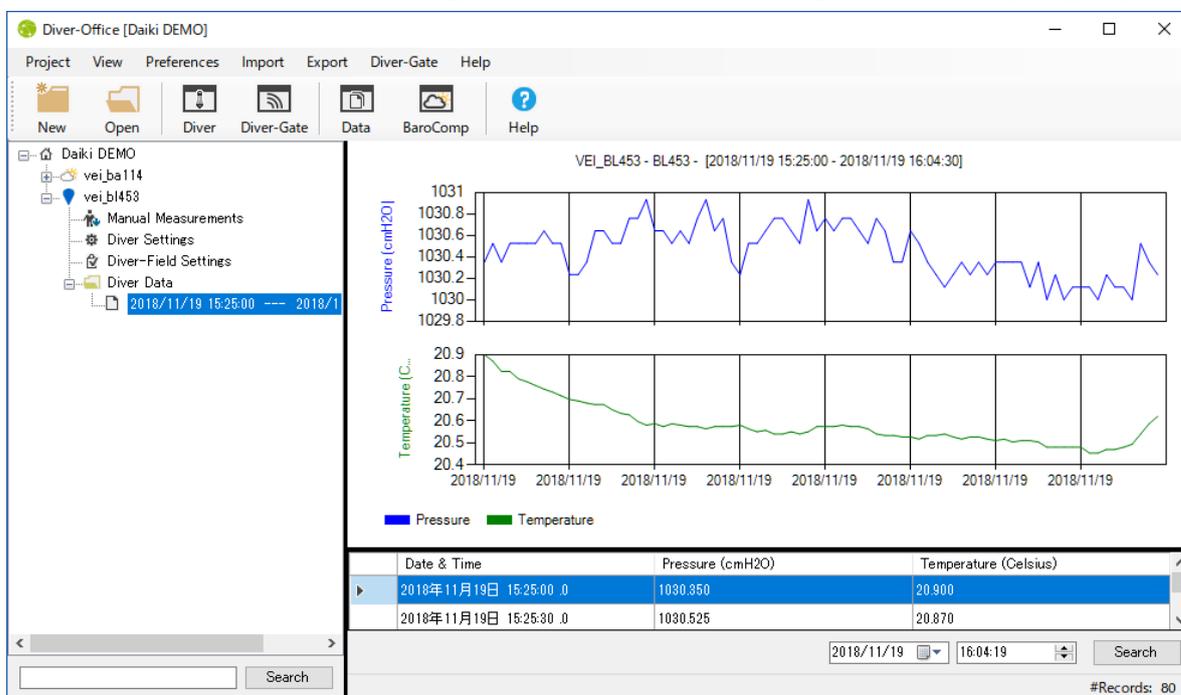
3. [STOP] ボタンをクリックします。



4. [Data] ボタンをクリックすると、測定データのダウンロードが開始されます。
([STOP] ボタンをクリックしなくても、データのダウンロードは可能です。)

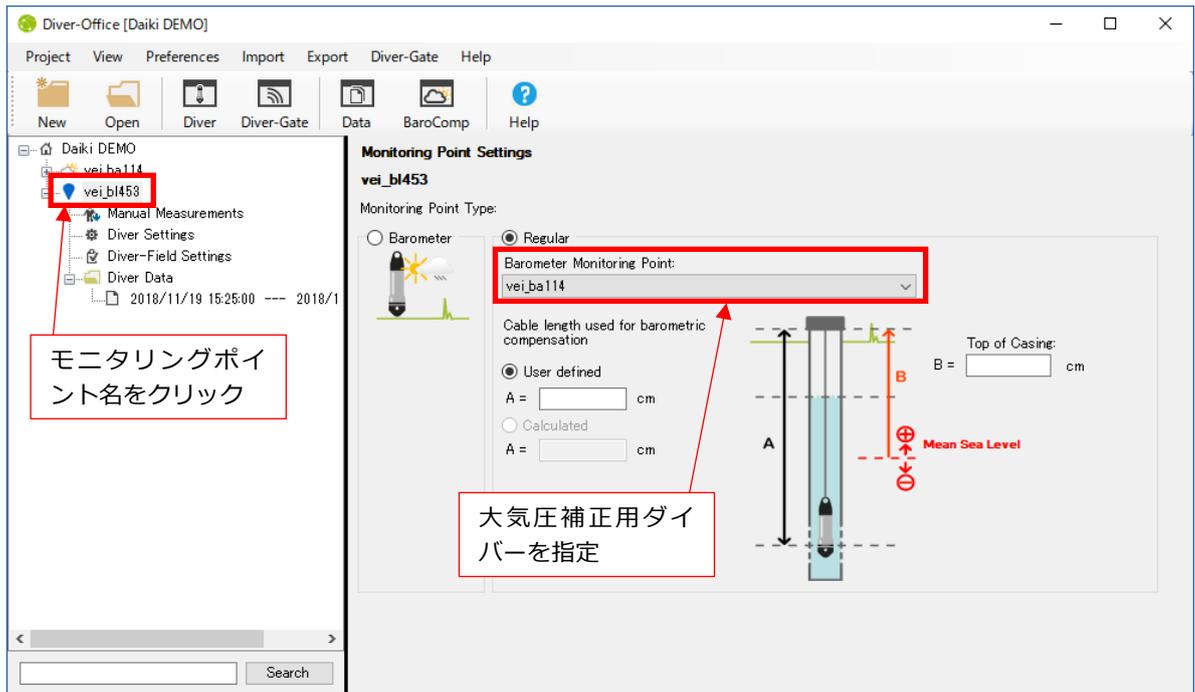


5. データのダウンロードが完了するとメイン画面に戻り、グラフと測定データが表示されます。

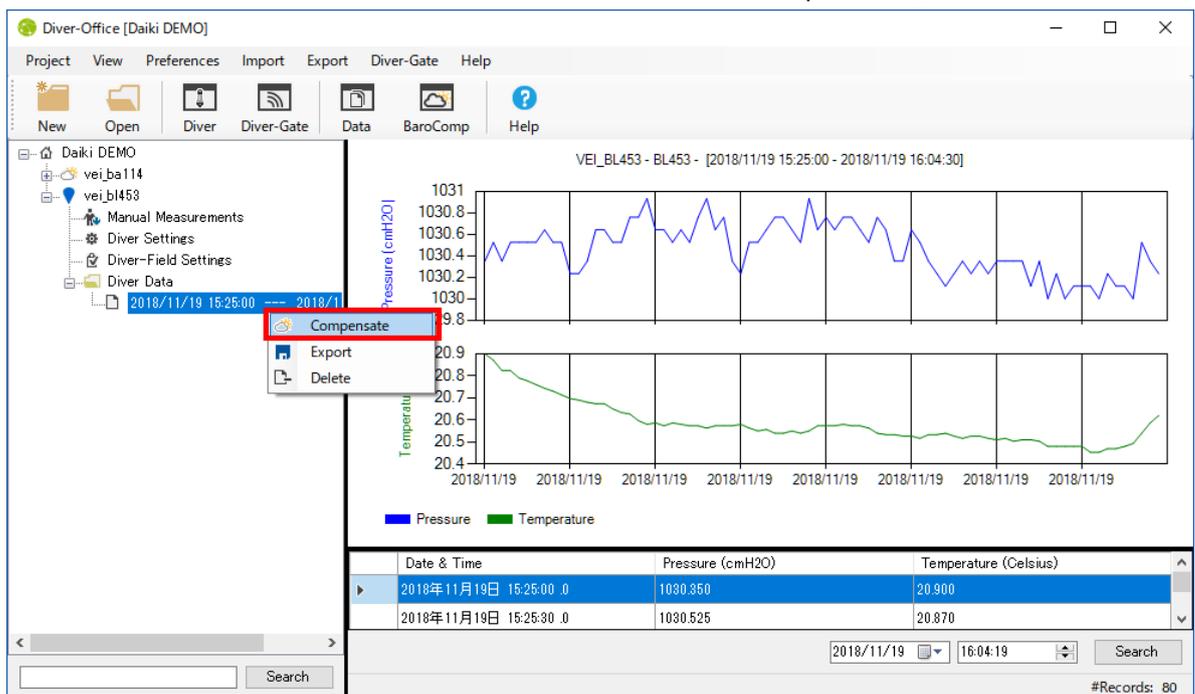


6. 大気圧補正

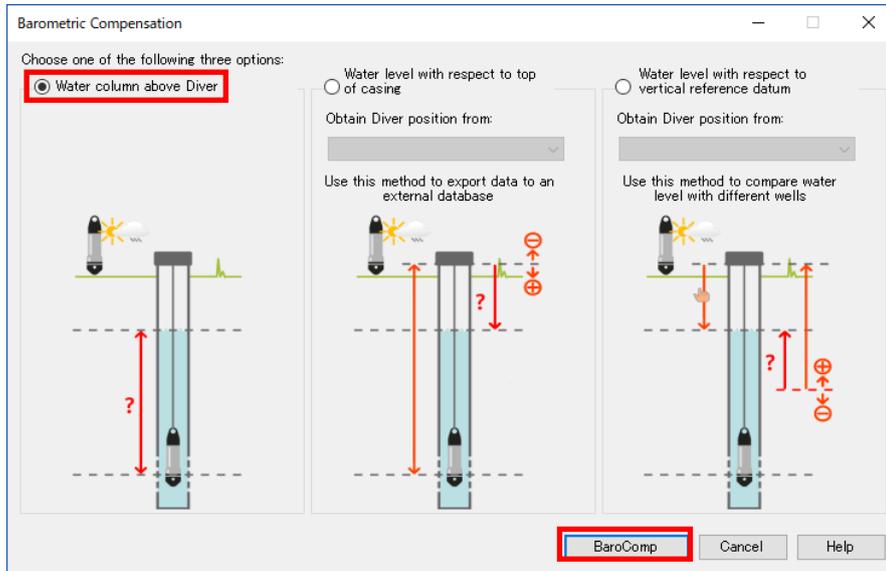
1. Diver-Office で大気圧補正を行う場合、水位測定を行ったダイバー水位計に対して、どの大気圧補正用ダイバーのデータを利用するか指定します。
2. 水位測定を行ったダイバー水位計の、モニタリングポイント名をクリックします。
3. 「Barometer Monitoring Point」より、大気圧補正用ダイバーを選択します。



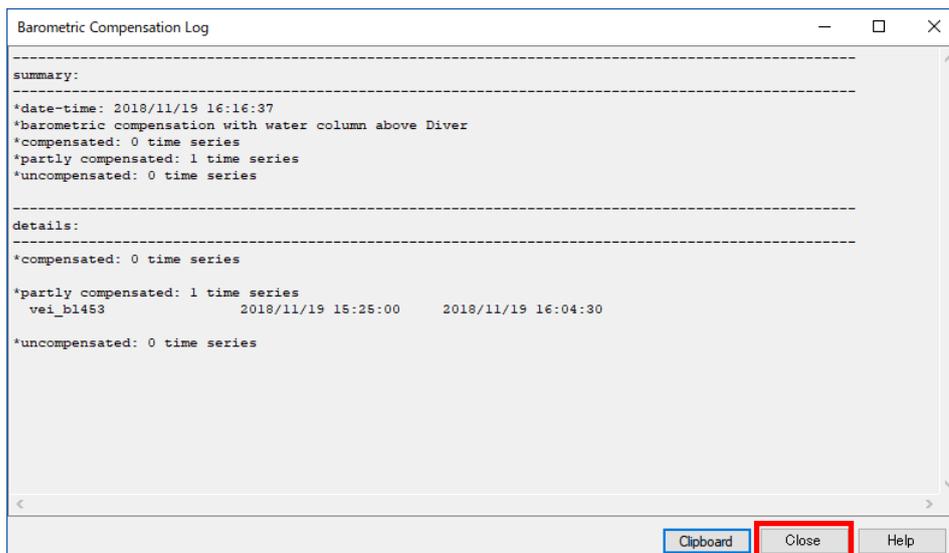
4. 大気圧補正を行うダイバー水位計のデータを右クリックし、「Compensate」をクリックします。



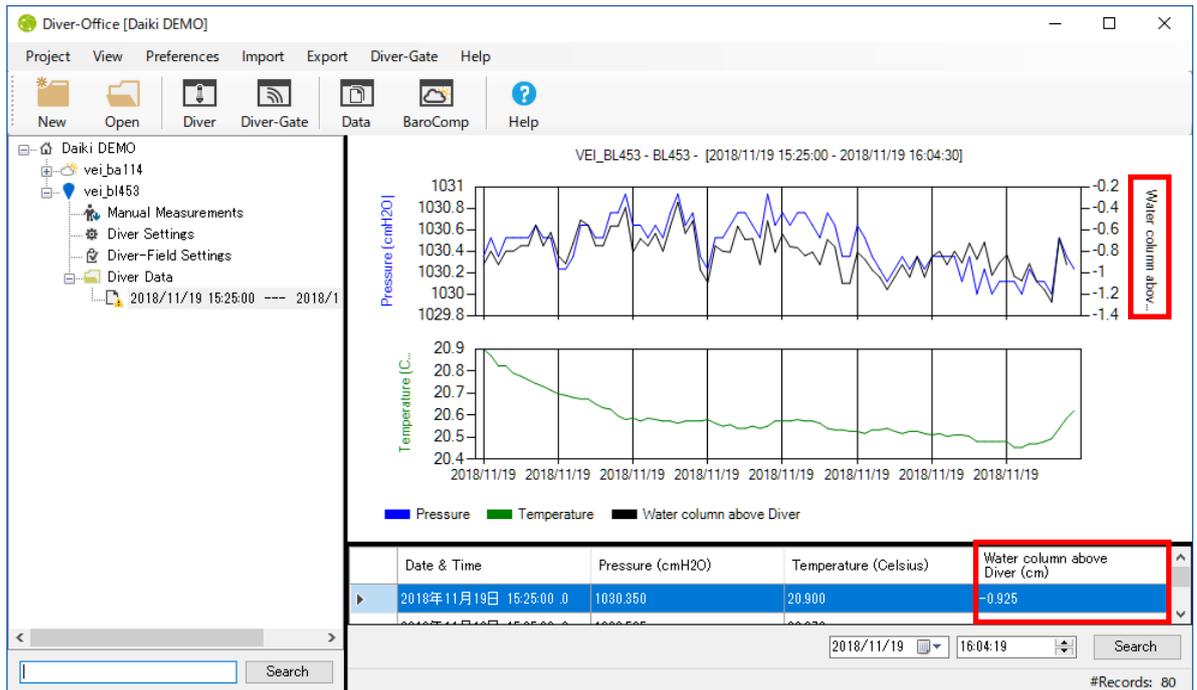
5. 大気圧補正方法の選択画面が表示されますが、通常はダイバー水位計のセンサーの位置から水面までの距離を求める「Water column above Diver」を選択し、[BaroComp] ボタンをクリックします。



6. 完了すると「Barometric Compensation Log」が表示されますので、大気圧補正に問題が無かったか、ログ内容を確認し [Close] ボタンをクリックして閉じます。



7. 大気圧補正が問題無く完了すると、グラフ上とデータ表示エリアに、補正されたデータが追加されます。



※ 上図は、水位測定用ダイバー水位計も大気圧中で測定したため、参考図となります。